


平成26年度  
第2回中部地区小・中学校  
研究主任等研修会

平成26年12月25日  
中部教育局



# 本日のめざすところ



- ①実施した実効策の成果と課題から自校の研究を振り返る。
- ②研究のまとめについての情報を交換し、3学期、来年度の研究推進の方向性を明らかにする。

# 本日の内容

## ○講義

「本年度のまとめと来年度の  
研究の活性化に向けて」

## ○グループ協議①

「2学期の実効策について」

## ○グループ協議②

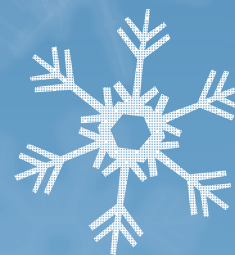
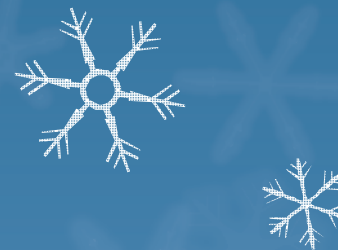
「研究のまとめについて」

平成26年度第2回中部地区小・中学校研究主任等研修会

**本年度のまとめと  
来年度の研究の活性化に  
向けて**

中部教育局

**校内研究は  
進んでいますか？**



# 「進んでいる」理由として

- 授業研究会を計画通り実施できた。
- 研究協議が活発になった。
- 共通実践ができている。
- 職員が生き生きしている。
- 授業で子どもが主体的に活動する場面が増えた。
- 学習に向かう子どもの姿が良い。

# 「進んでいない」理由として

- 授業研究会が授業改善につながっていない。
- めざす授業の姿が共有されていない。
- 共通実践ができていない。
- 職員が協力してくれない。
- 学習規律が定着しない。
- 主体的に学ぶ姿勢が育っていない。

# 研究を何で評価しますか？

- 各種学力検査の結果
- 共通実践事項の実施状況
- 学校の教育反省の結果
- 先生の自己評価
- 児童生徒へのアンケート
- 児童生徒のノート、発言、記述
- 児童生徒の表情、学習に向かう態度



# 研究の評価

## ① 量的なものでの評価

各種学力検査の分析、児童生徒へのアンケートなど

## ② 質的なものでの評価

会話や文章から読み解く変化など  
(羅列→根拠を含む)

## ③ 教師の主観による評価

笑顔、やる気など

# 研究の評価

研究主題・仮説



①量的な  
ものでの  
評価

②質的な  
ものでの  
評価

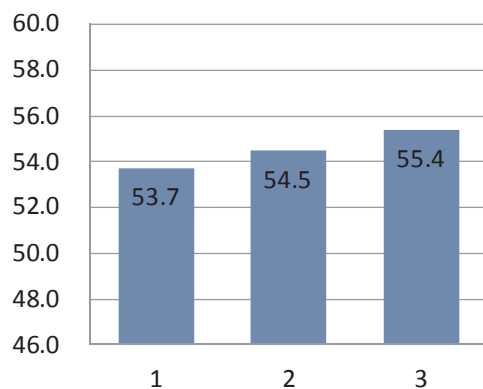
③教師の  
主観によ  
る評価

バランス良く

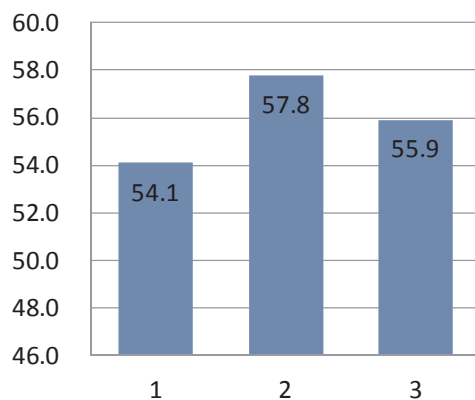
量的なものでの評価

# 学力診断テスト分析シート

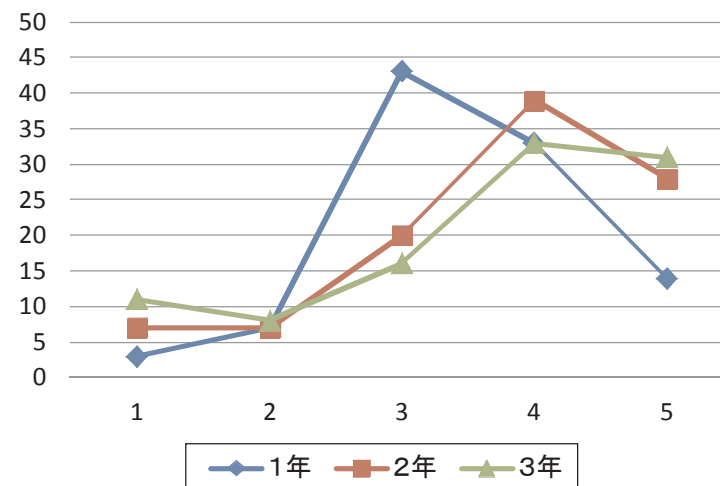
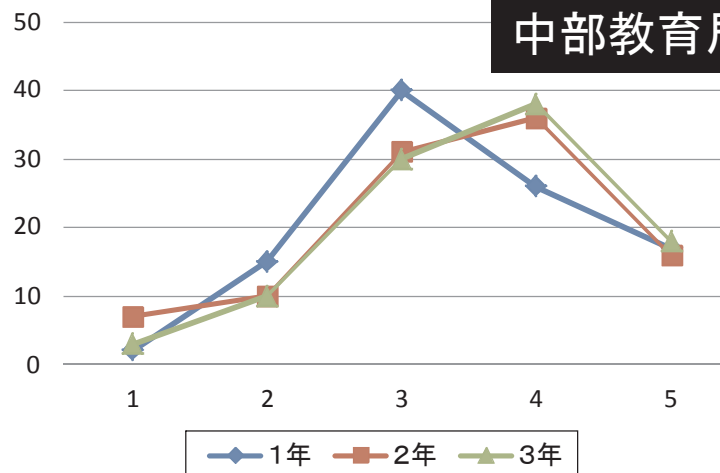
## 数学



## 理科



## 中部教育局



# もう一步踏み込んだ分析を

## 「進んでいる」理由

- 研究協議が活発になった。  
→内容（質）はどのようなのか？
- 共通実践ができている。  
→何をもってできたと捉えたのか？
- 授業で子どもが主体的に活動する場面が増えた。  
→増えたと判断した根拠は何か？

# もう一歩踏み込んだ分析を

## 「進んでいない」理由

- 共通実践ができていない。  
→ なぜ実践しないのか？
- 職員が協力してくれない。  
→ なぜ協力してくれないのか？  
→ 働きかけをどれだけしたのか？
- 学習規律が定着しない。  
→ 課題は子どもなのか？  
教師なのか？

# 来年度に向けて

(1) 今年度の研究の評価

(2) 次年度以降の計画（3年位を見通して）

○めざす子ども像の修正

○研究主題、仮説の修正

○年間計画の作成

※今年の課題を解決するための研究へ

※評価、計画に全職員が参画

# 研究主任の役割

○組織づくり（研究推進委員会）

○職員のコーディネート  
（個々を生かす・仲間を増やす）

○職員の意欲の醸成  
（やる気にさせる・良さを伝える）

第1回研修会より

# 研究主任の役割

- 授業研究会と授業研究会を  
線で結ぶ  
(右肩上がりに)

ゴールへ

次回の研究会

今回の研究会

前回の研究会

- そして、  
線から面(職員全体)へ広げる

- 日々の授業につなぐ



# 研究主任の心構え

- 一人だけでがんばらない
- 協力者、理解者を見つける
- 燃えるところから燃やす
- 完璧を求めない
- 自分のことより人のことを優先する
- 感謝の気持ち・言葉を忘れない
- 研究主任を楽しむ

# 校内研究をチェック!

- ①研究主題と学校教育目標につながりがある
- ②めざす子ども像が明確である
- ③仮説に、手立てや期待される子どもの姿が示されている
- ④研究を評価する時期や方法が示されている

# 校内研究をチェック!

- ⑤研究主題を全職員が理解している
- ⑥全職員が意欲的に研究に取り組んでいる
- ⑦研究の計画や立案などを複数の教員で進めている
- ⑧子どもの現状把握・分析を定期的に行っている

# 校内研究をチェック!

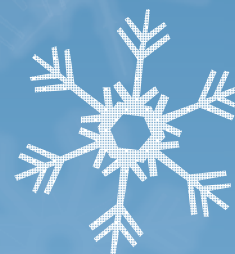
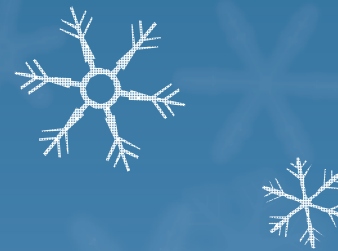
⑨ 1学期までの研究に関わる反省を  
実施した（職員会、アンケート等）



⑩ 授業研究会の成果が日々の授業に  
生かされている



**実効策はどうでしたか？**



# 実効策（第1回振り返りシートより）

- 共通での取組、個々での取組を明確にして日々の実践に結び付ける。
- 授業実践アンケートを定期的にとり、授業改善の意識を継続させると同時に研究の定着度を確認する。
- アンケート等で子どもの実態把握を定期的に行う。

# 実効策（第1回振り返りシートより）

- 事前研に多くの職員が関われるように工夫をする。
- 共通実践チェックシートを作成し、課題を捉える。
- 校長先生に共通実践の実施状況の点検等、指導をしていただく。

# 実効策（第1回振り返りシートより）

- 中学校区での授業研究会にお互いが参加する。
- 職員会にプチ実践発表を取り入れるなど、授業実践についての簡単な報告会を開く。
- 研究主任をサポートして、研究にしっかり関わっていく。



# グループ協議①

## 「2学期の実効策について」

- 10:00~10:50
- 校種ごとに
- 2学期に取り組んだ実効策の成果と課題を紹介し合い、自校の取組の成果と課題を明確にする。

# グループ協議②

## 「研究のまとめについて」

- 11:00~11:50
- 校種ごとに
- 中学校は202会議室へ移動
- 研究のまとめ方、評価の方法などについて情報交換を行い、3学期以降の研究の見通しをもつ。

# 来年度に向けて必要なこと

□研究の評価を行い、成果と課題を整理する。

□研究紀要を作成するなど、研究をまとめる。

□まとめたもの（紀要等）をもとに今年度の研究を振り返る。

□子どもの実態をつかみなおす。

# 来年度に向けて必要なこと

□今年度の課題と、子どもの実態から次年度のテーマを決める。 

□次年度の研究推進計画を立て、研究推進委員会等で練る。 

□職員会で提案し、全職員で検討する。 

□新年度の職員会で提案をする。 

# 研究主任の心構え

- 一人だけでがんばらない
- 協力者、理解者を見つける
- 燃えるところから燃やす
- 完璧を求めない
- 自分のことより人のことを優先する
- 感謝の気持ち・言葉を忘れない
- 研究主任を楽しむ

**お疲れ様でした**



**校内研究！  
がんばろう！**